

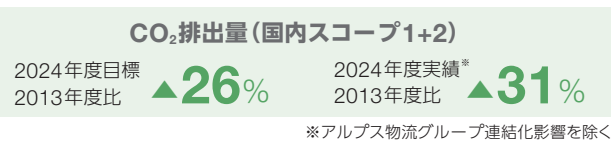
注力分野 1 脱炭素・循環型社会への貢献

マテリアリティ
脱炭素社会への貢献気候変動への対策および脱炭素社会の実現に向け、サプライチェーンを含む温室効果ガス（CO₂）排出量の削減やエネルギー利用の効率化および事業機会の創出に取り組む

ロジスティードグループは、カーボンニュートラルの実現には、物流領域におけるCO₂排出量削減が影響を与えることを認識しており、自社グループだけでなく、お客様のサプライチェーンも含めたCO₂排出量の削減や環境負荷低減に取り組んでいくことが重要だと考えています。その考えのもと、環境方針の一つに「環境負荷の小さい物流・サービスの提供」を掲げ、モデルシフトや共同配送等の従来の取り組みのほか、お客様のスコープ3も含めたCO₂排出量の削減に資するサービスの開発など、事業活動を通じた環境負荷の低減と新たな環境価値の提供をめざしています。

CO₂排出量削減に向けた取り組み

当社グループでは、持続可能な社会の実現に貢献するため、CO₂排出量削減に向けた取り組みを推進しております。



● 省エネ

エネルギー利用の効率化に向けて、物流センターや事務所へのLED照明の導入や、フォークリフトへのリチウムイオンバッ

テリーの導入、照明人感センサーの活用等による節電の取り組みのほか、モーダルシフトや共同配送等を進めています。

● 電化

輸送における環境負荷低減に向け、電気自動車や燃料電池車の導入を市場動向を注視しながら進めています。

2024年度は、国内で業務用車両の電気乗用車への代替を9台行いました。

● 再エネ調達

再生可能エネルギー

2024年度は9事業所で再生可能エネルギー由来電力への切り替えを実施し、導入数が合計97事業所となりました。うち、28事業所では、再生可能エネルギー100%プランの適用によりCO₂排出量ゼロを達成しました。また、国内口

ジスティードグループスコープ2排出量の14.3%を、非化石証書によりオフセットしました。特に、当社本社ビルを含む一部事業所は、非化石証書でのオフセットにより排出量実質ゼロを達成しています。

● 創エネ

物流センターの屋上への太陽光パネル設置を進めています。2024年度は、京都府・大阪府・広島県などの当社グループの物流センター屋上等に新たに太陽光パネルを設置

しました。また、PPA*スキームを活用した太陽光パネル導入に向けた取り組みも進めています。

※PPA（Power Purchase Agreement）：電力販売契約

● サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減目標設定に向けた取り組み

サプライチェーン全体でのCO₂排出量（スコープ3含む）の削減目標設定に向け、精度の高い排出量の算出・可視化システムの構築等に取り組んでいます。2024年度より、海外

においても国内同様にスコープ1およびスコープ2のCO₂排出量の月次集計を開始しました。また、海外スコープ3についてもシステム構築の検討を実施しています。

お客様のサプライチェーン上の脱炭素への貢献

● EcoLogiPortal提供によるお客様の脱炭素化の支援

お客様のサプライチェーンの最適化を支援するDXサービス「SCDOS」において、2021年度から「CO₂排出量見える化機能」のサービス「EcoLogiPortal」を提供しています。これは、お客様の多様なデータを一元管理・モニタリングしながら、サプライチェーンにおけるCO₂排出量・削減量の正確な把握・可視化を可能にするサービスで、第三者機関による適合性評価を得ています。2024年度は顧客エンゲージ

メント向上のため、サービス導入事例集をリリースし、多くの提案を行い、国内のみならず海外のお客様の物流領域で排出されるCO₂排出量の可視化と削減を支援しました。

SCDOSに関する詳細はWebサイトをご参照ください
<https://www.logisteed.com/jp/scdos/>

「EcoLogiPortal®」が「ASUENE」と連携～CO₂排出量可視化ソリューションで企業の脱炭素経営を後押し～についての詳細はWebサイトをご参照ください
<https://www.logisteed.com/jp/news/news-release/202411261532/>

● インターナルカーボンプライシング（ICP）

2022年度に設定したICP10,000円/t-CO₂に対し、2024年度は脱炭素に向けた取り組みをさらに推進するために

内部炭素課金（Internal Fee）の将来的な導入可否も含め検討を行いました。

マテリアリティ
循環型社会への貢献

資源利用の削減・回避と環境汚染防止、事業機会創出に取り組み、循環型社会へ貢献する

ロジスティードグループでは、環境行動計画の一つに「環境負荷の低減」を掲げ、自然との共生を意識した資源循環や廃棄物抑制、生物多様性と生態系の保全の取り組みを推進しながら循環型社会への貢献をめざしています。

廃棄物抑制や資源の有効活用

● 再資源化目標の設定と達成

事業活動で発生する廃棄物が可能な限り再資源化されるよう、廃棄物の排出抑制施策の実施や、埋立処分量の削減に向けた取り組みをグループ全体で積極的に推進し、再資源化率の維持・向上に努めています。



● 海外での廃棄物抑制の取り組み

グループ会社のMars Logistics Group Inc.（以下、Mars）では、「Zero Waste Certificate」を取得しています。廃棄物削減の取り組みを実施・報告し、監査を受けた機関に対して、トルコの環境省から与えられる証明書です。

2024年度はMarsの運営する4拠点にて取得済みであり、2025年度はさらに8拠点での取得を計画しています。



● 包装設計における資源利用の削減

包装技術の向上に取り組んでおり、お客様のニーズに応えつつ、包装に関わる資材・廃棄物の削減など、包装設計における環境負荷の低減に努めています。

2024年度は（公社）日本包装技術協会主催「日本パッケージングコンテスト」において、「1t積載できて、リサイクルしやすい、ハイブリッドパレット！」がロジスティクス賞を、「支柱脱着式段積み輸送用デッキ」および「小型電子顕微鏡のスロープ付き梱包箱」が輸送包装部門賞を受賞しました。「支柱脱着式段積み輸送用デッキ」の事例では、構造をシンプルにすることでコストの抑制を図るとともに、車両数を40%削減、CO₂排出量を45%削減しました。

事例／受賞名	主な効果
1t積載できて、リサイクルしやすい、ハイブリッドパレット！／ロジスティクス賞	● スチールパレットより低コスト化・軽量化（9kg） ● 分別が容易でリサイクル可能 等
支柱脱着式段積み輸送用デッキ／輸送包装部門賞	● 車両数：40%削減 ● CO ₂ 排出量：45%削減 等
小型電子顕微鏡のスロープ付き梱包箱／輸送包装部門賞	● 荷卸し時の荷役機器の不要化 ● 安全性の向上

2024日本パッケージングコンテストでトリプル受賞
についての詳細はWebサイトをご参照ください

<https://www.logisteed.com/jp/news/news-release/202408291216/>

サーキュラーエコノミーの取り組み

● 廃プラスチックパレットの循環スキーム

プラスチックパレットの販売やレンタルなどを行っているグループ会社のパレネット(株)では、破損し使用できなくなった返却パレットを廃棄せず、同社が出資しているプラスチックパレットの製造会社に提供しています。提供したプラスチックパレットは、洗浄・破砕工程を経て、新たなプラスチックパレットの原料として活用され、再製品化されたプラスチックパレットは、パレネット(株)のレンタルパレット事業でふたたび使用されています。

この取り組みにより、毎年2万枚を超える廃プラスチッ

クパレットを再資源化し、新たなプラスチック原料の使用量を削減することで、環境負荷の低減と持続可能なサービスの提供を両立しています。



再生パレット